

▼リカマイシンドライシロップ [内] <製造中止>

【重要度】 【一般製剤名】ロキタマイシン rokitamycin 【分類】マクロライド系抗生物質

【単位】▼20%DS

【常用量】小児に対して20~30mg/kg/日

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【特徴】16員環マクロライド系抗生物質。酸性飲料(オレンジジュース等)で服用すると苦味が発現するため避ける。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 肝障害, 下痢, 悪心, 蕁麻疹, 口内炎, 好酸球増多など

【吸収】食後投与では空腹時投与に比しAUCが約50%低下(1) $k_a=2.6/hr$ (1)

【F】資料なし(1)

【 t_{max}] 0.5hr(1)

【代謝】肝臓でエステラーゼにより代謝される(1) CYPによる代謝を受けない(1) 代謝物の一部には抗菌活性がある(1)

【排泄】尿中排泄率2%以下[小児, po, 6hrまで](1) 【CL】資料なし(1)

【 $t_{1/2}$] 2hr(1)

【蛋白結合率】88.5~91.5%(1)

【Vd】資料なし(1)

【MW】827.99

【透析性】資料なし(1) 除去されにくいと思われる(5)

【O/W係数】1202 [1-オクタノール/buffer, pH7.0](1) 【pKa】7.55 【薬物動態】線形動態 (Broggini M, et al: Eur J Drug Metab Pharmacokinet 16: 137-40, 1991 PMID: 1936073)

【相互作用】CYP3Aを阻害する可能性 (Zhao XJ, et al: Drug Metab Dispos 27: 776-85, 1999)

【更新日】20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。